

天川村の水の今と昔

天川中学校 一年

福本 竜馬

ぼくは、天川の今と昔の水を調べました。おばあちゃんに昔の話を聞くと、「水は山からのわき水や、井戸水を使っていたんやで。」

と言っていました。昔は、天川に水がいっぱいあったから不自由しなかったのかなあと思いました。

お風呂に入るためには、まずわき水や井戸水などを鉄で造られたお風呂の中に入れて、下でまきを燃やして、お湯にして入っていたそうです。今はお風呂を自動的にためられるし、シャワーもあるのととても便利ですが、むだ使いしてしまえます。だから、これからは、水をもう少し、大切に使うようにしましょうと思います。

天川村ではだん水や節水になったことはな

いですが、ニュースを見ていたら、時々節水になったニュースを見ます。節水になったら生活で使う水もとて不自由になります。お店をしている人も、たくさん水が使えなくなるとても困るようです。

おばあちゃんの家では、今も山からのわき水を生活に使っているので、大雨や台風の時などは、わき水にどろが入って茶色にごっってしまうので、早めに大きいバケツや大きいペットボトルに水を入れてとっておかないと、お茶をわかしたり、ごはんをたいたりするのができなくなるそうです。そして冬には、水道管が寒さでおおるので、もったいないけれど一日中、夜中も水を水道から少しずつ出しておかないと困るそうです。とても大変なんだなあと思いました。

天川村の水はとてもきれいでおいしいです。大阪に住んでいるしんせきの叔母が天川へ来た時は、いつも空っぽのペットボトルをたくさん持ってきて、おぼあちやんの家の水道から水をいっぱい入れて持って帰ります。叔母に「なんで水を入れて帰っていくの。」と聞いてみると、大阪の水は淀川の水をきれいにするので、水が薬のにおいがして、くさくておいしくないそうです。だから叔母は天川から持って帰ったおいしい水を少しづつ大切に使用しているそうです。ぼくにも天川の水がいつも飲めてうらやましいなあと言っていました。こんな、すごい天川の水を大切にしていきたいです。